

アンケート調査報告書

—五城目町の人口の将来展望に関する調査分析—

平成 27 年 9 月

五城目町

「ひと」「まち」「しごと」に係る住民の意識・希望に関する調査

- ・ 住民に対して実施した2種類のアンケートに基づき、人口の将来展望を検討するにあたり必要となる、「ひと」「まち」「しごと」に関する意識・希望を調査し分析した。

1. 移住定住・結婚・出産等に関する意向の調査

(1) 調査の概要

図表1. 移住定住・結婚・出産等に関する意向の調査の概要

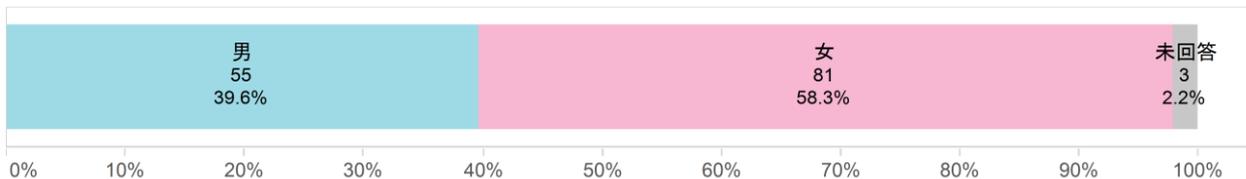
調査地域	五城目町
調査対象	町内の若年・壮年層（19歳～40歳）
配布数	500部
回収率（有効回答数）	27.8%（139部）
調査期間	平成27年（2015年）7月
調査方法	無記名式アンケートの郵送および直接配布および回収

(2) 調査対象者の属性

- ・ 今回の調査は、幅広い属性(年齢・地区・男女別)にわたる五城目住民を対象としている。
- ・ 性別では女性がやや多く、年齢別では35歳以上が相対的に多い。

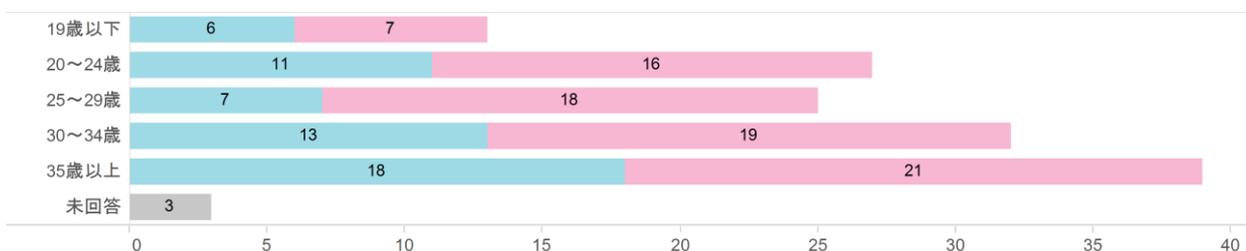
【問4】

あなたの性別について、あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。



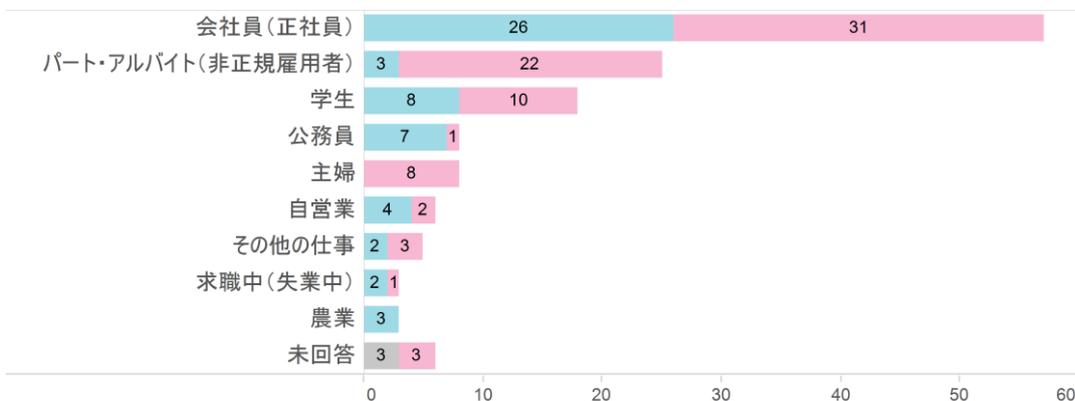
【問5】

あなたの年齢(平成27年7月1日現在)について、あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。



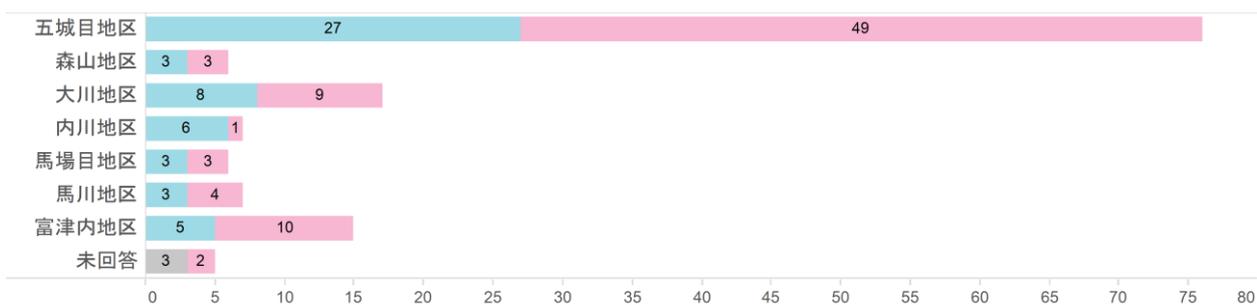
【問6】

あなたの現在の就労状況について、あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。



【問7】

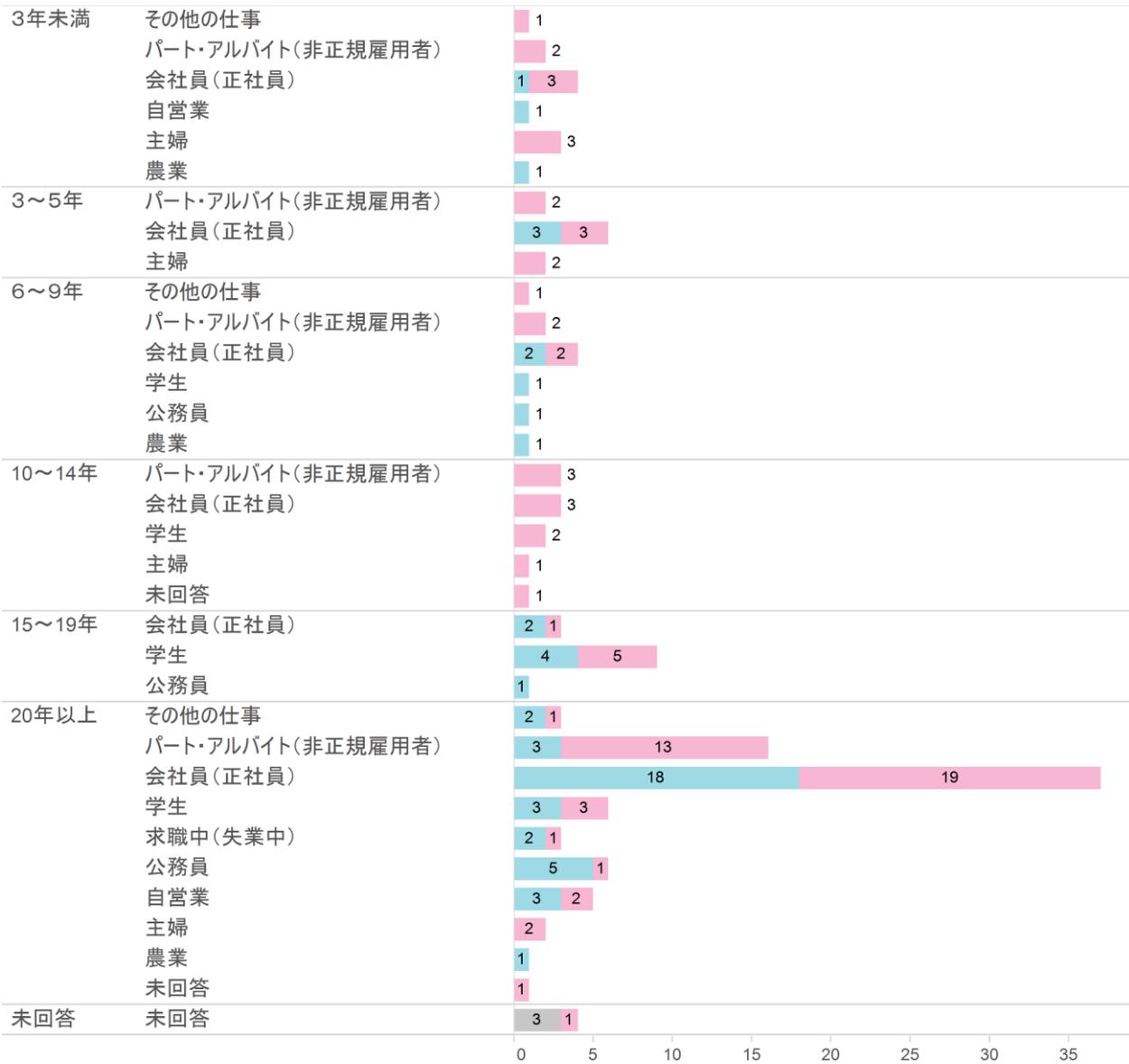
あなたがお住まいの地区について、あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。



【問 8】

あなたは、五城目町に住みはじめて何年になりますか。

あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。



(3) 将来人口への不安

- ・ 五城目町の将来人口については、「不安を感じる」との回答が7割以上を占めている。
- ・ 「不安を感じる」との回答は、男女・年齢・職業・居住年数の違いを問わず、ほぼ共通の結果となっている。
- ・ 若者の減少を抑えるための施策としては、「教育・子育て支援の充実」や働く場所の創出が期待されている。

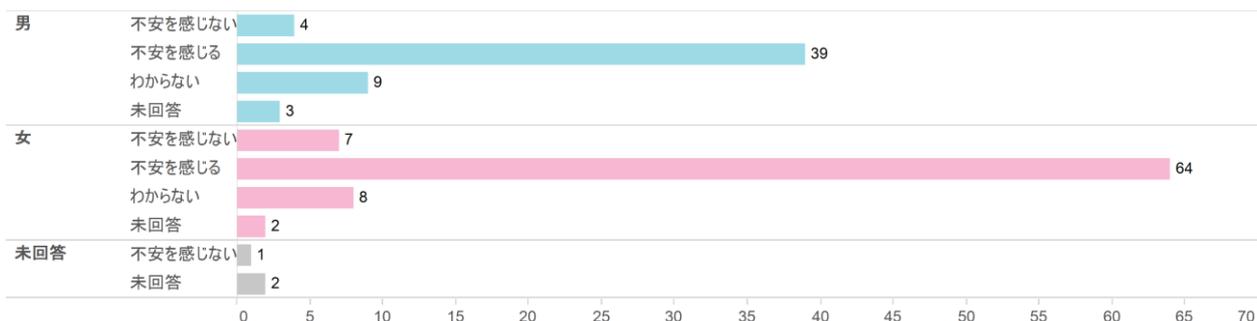
【問1】

あなたは、五城目町の人口推移予測について、どのように思いますか。



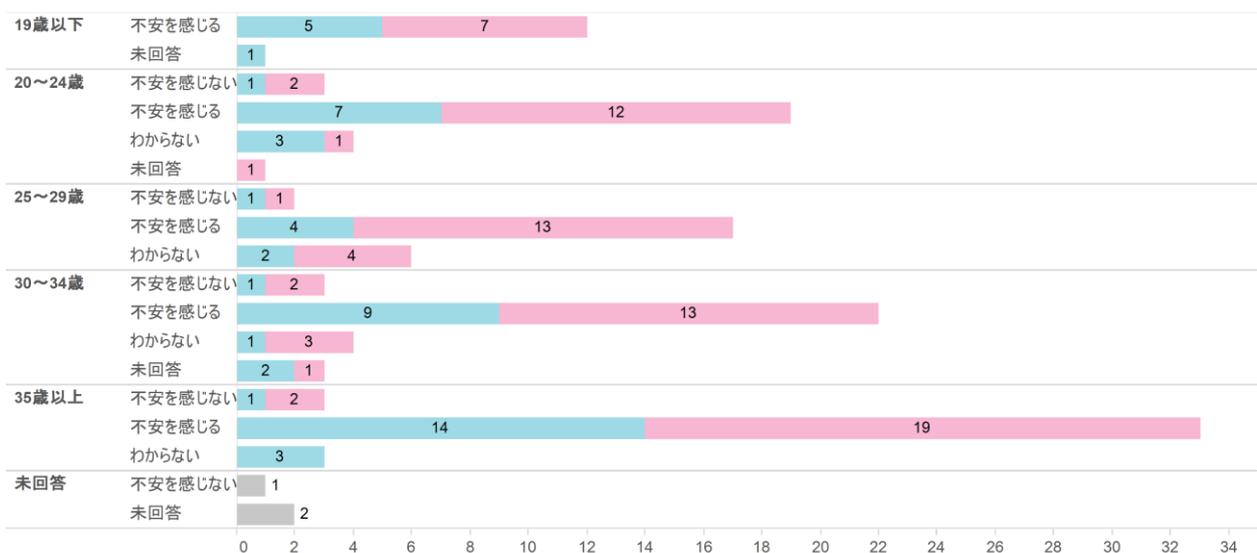
【問1】

(男女別)



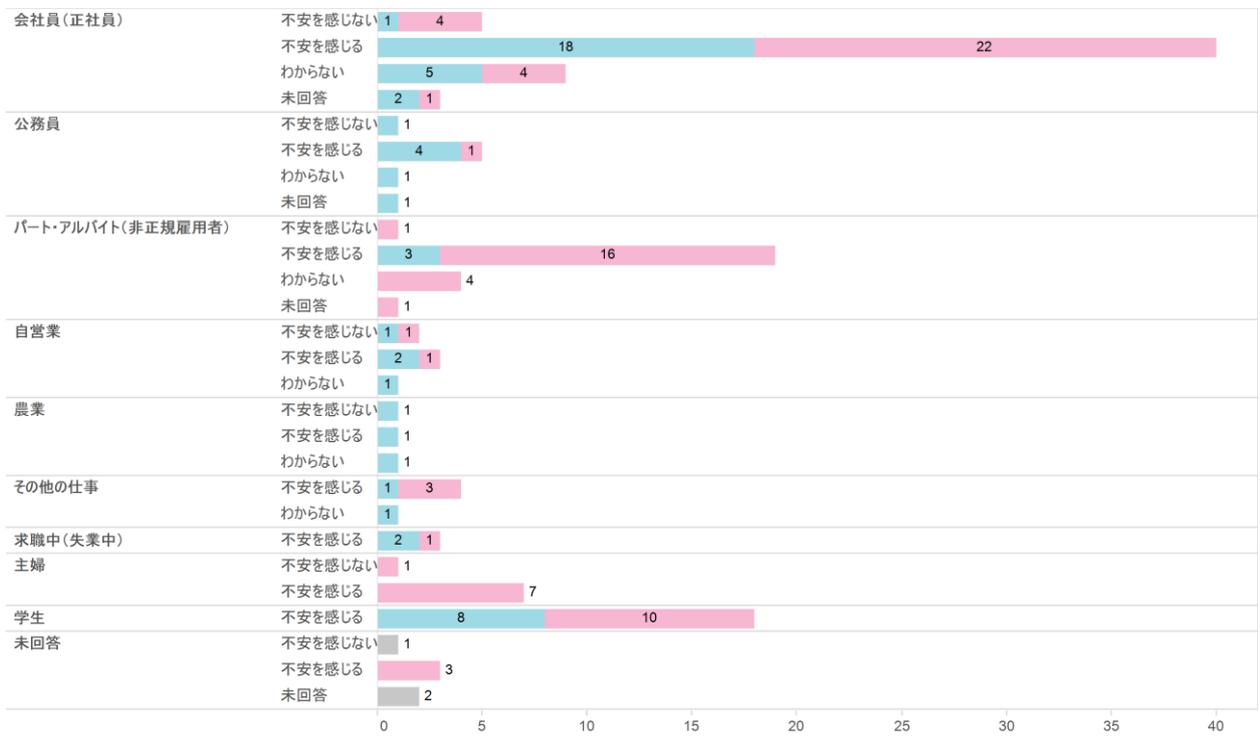
【問1】

(年齢別)



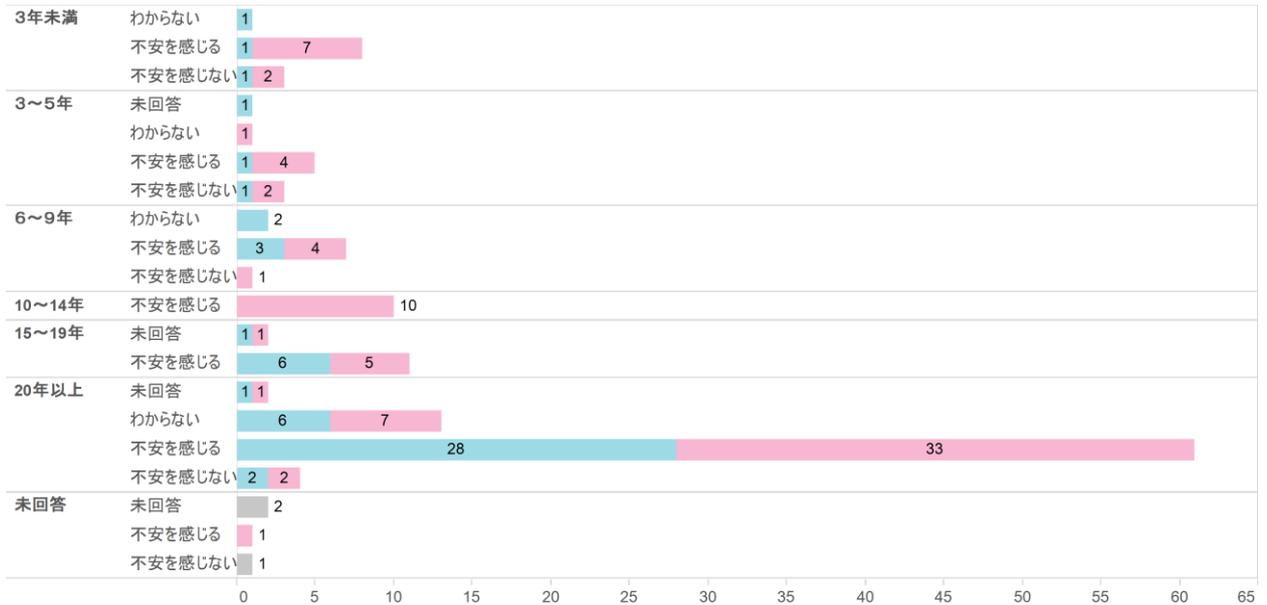
【問 1】

(職業別)



【問 1】

(居住年数別)



【問 2】

問1で「1」を選択した方におたずねします。

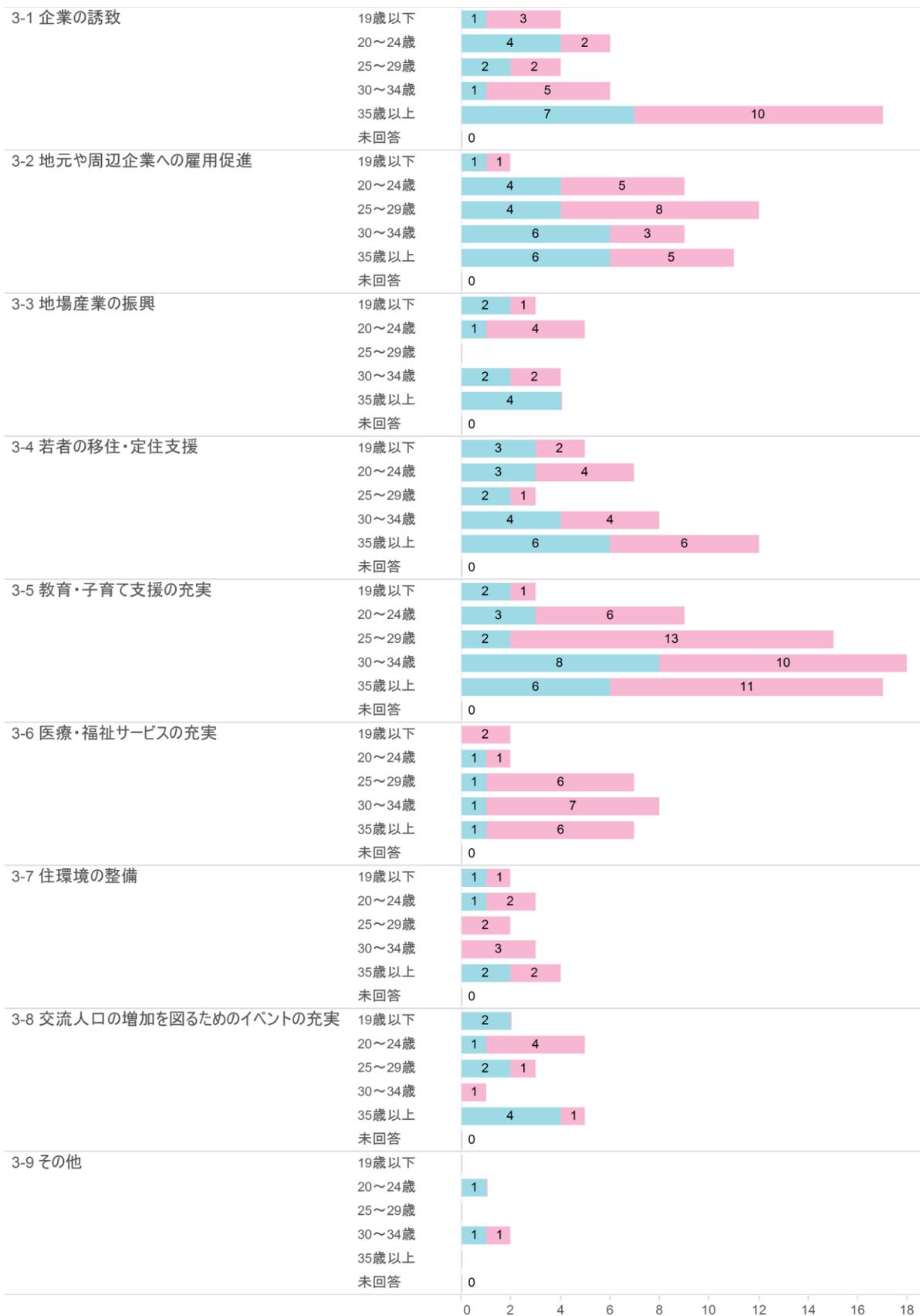
具体的にどのようなことに不安を感じますか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。



- 35歳以上
- 30～34歳
- 25～29歳
- 20～24歳
- 19歳以下

【問3】

あなたは、五城目町において、若者の減少を抑えるために効果的な施策はどのようなものだと思いますか。あてはまるものを2つまで選び、○をつけてください。

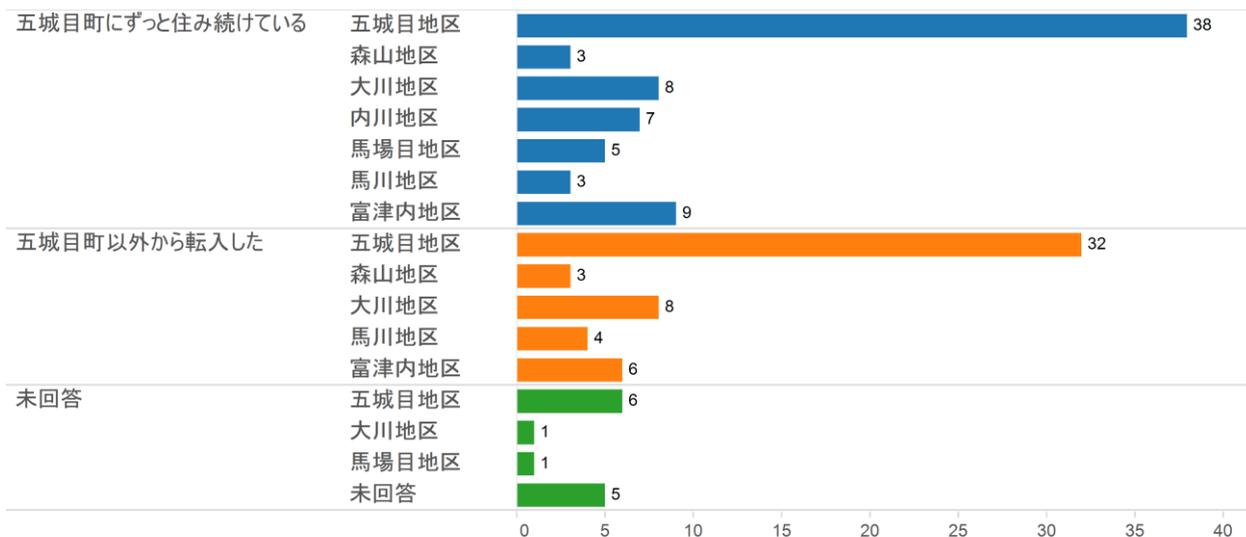


(4) 転入・転出に関する意識

- ・ 五城目町出身者と町外からの転入者は、ほぼ同数の回答となっている。
- ・ 五城目町以外からの転入者については、自分の結婚を転入理由とする女性が多数を占めている。

【問 9】

五城目町に転入する前に、あなたが住んでいたまちはどちらですか。町内にずっと住み続けている方は「1」、町外から転入した経験のある方は「2」を選び、どちらか 1 つだけ、○をつけてください。



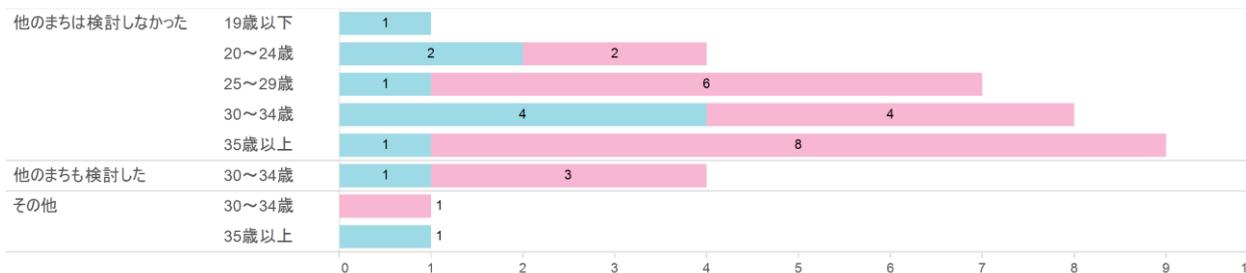
【問 9-1】

問 9 で「2」と回答をした方のみお答えください。五城目町に転入したきっかけについて、あてはまるものを 1 つ選び、○をつけてください。(未回答データを除く)



【問 9-2】

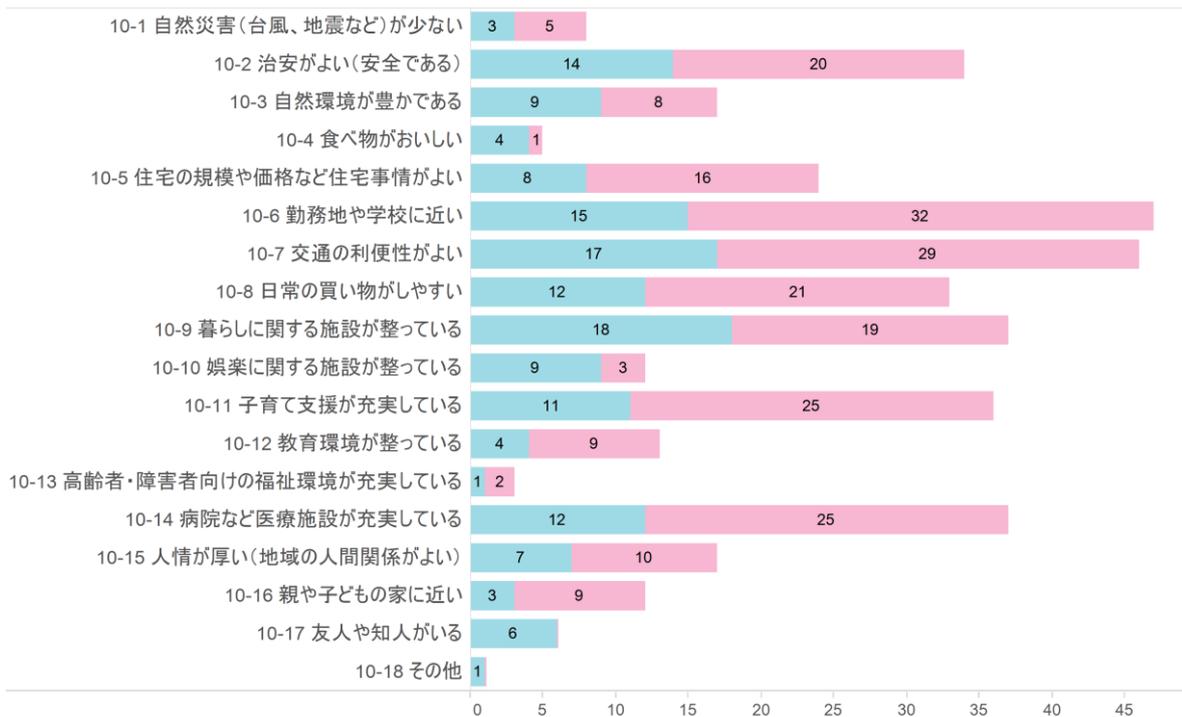
問 9 で「2」と回答した方のみお答えください。転入される際、五城目町以外のまちを検討しましたか。あてはまるものを 1 つ選び、○をつけてください。(未回答データを除く)



- ・ 転出先を検討する際の要因から考慮すると、「勤務地や学校へのアクセスの良さ」が転入者を増やすための重要なポイントであることを示唆している。
- ・ 年齢別で見ると、20代前半では、交通の利便性や勤務地・学校への近接性を重視する一方、30代以降では、子育て環境・病院などの充実を重視する傾向が見られる。

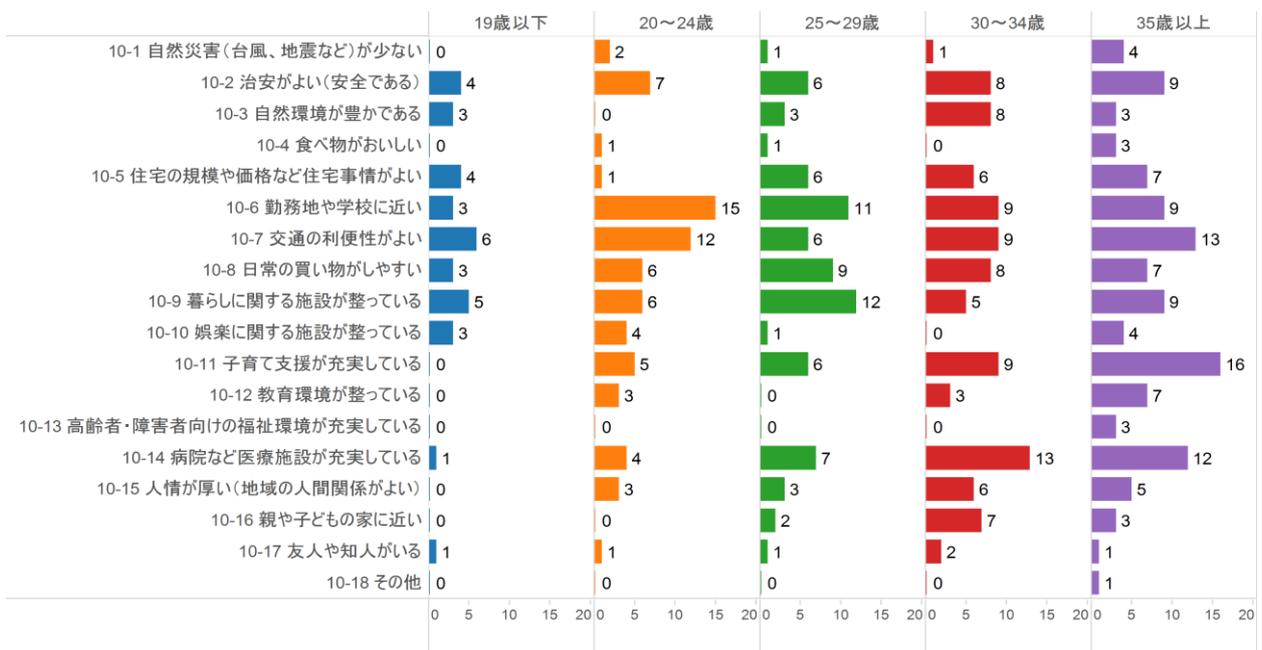
【問 10】

転出先を決める際、考慮する環境として、重要なものは次のどれですか。



【問 10】

(男女・年齢別)



(5) 定住に関する意識

- ・ 五城目町に「住み続けたい」「当分の間は住み続けたい」の回答を合わせると全体の7割を構成し、地元への愛着が高いことを示唆している。
- ・ 上記の傾向は、年齢別・男女別で見ても、特に大きな差異がないと判断される。

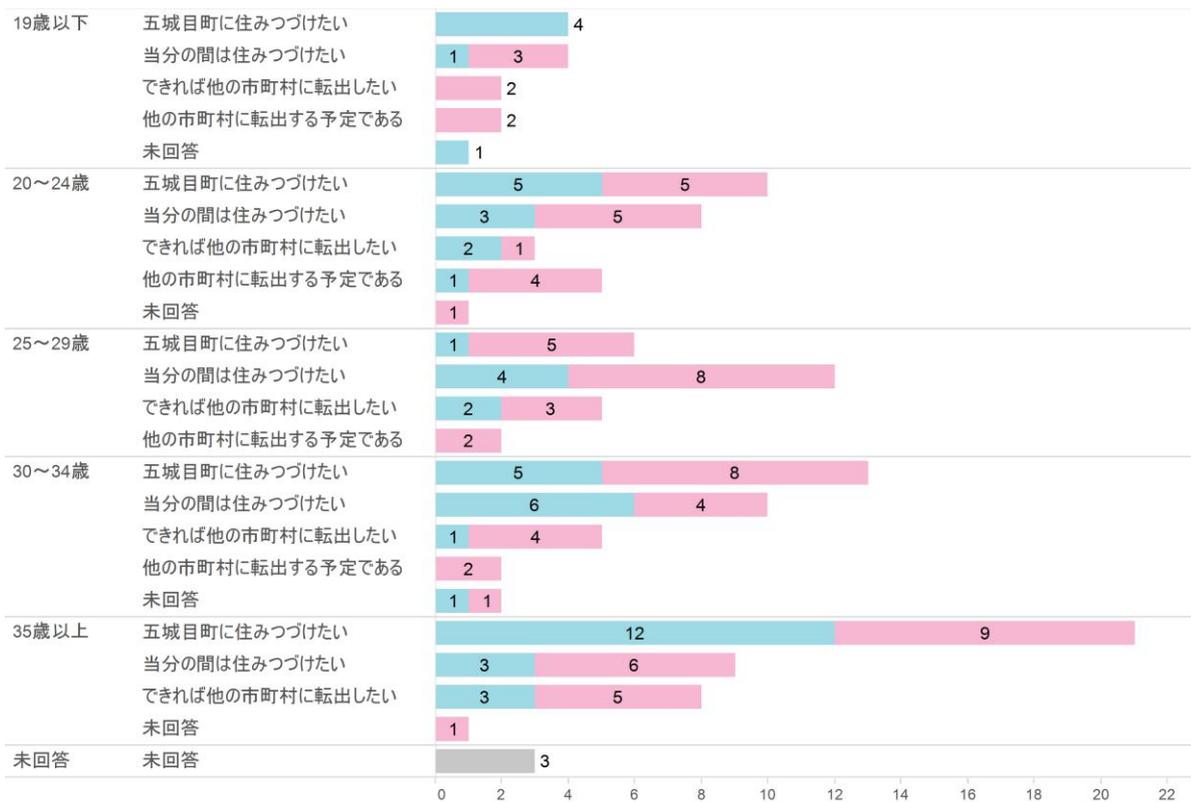
【問 11】

あなたは、五城目町にこれからも住みつづけていますか。



【問 11】

(年齢別)

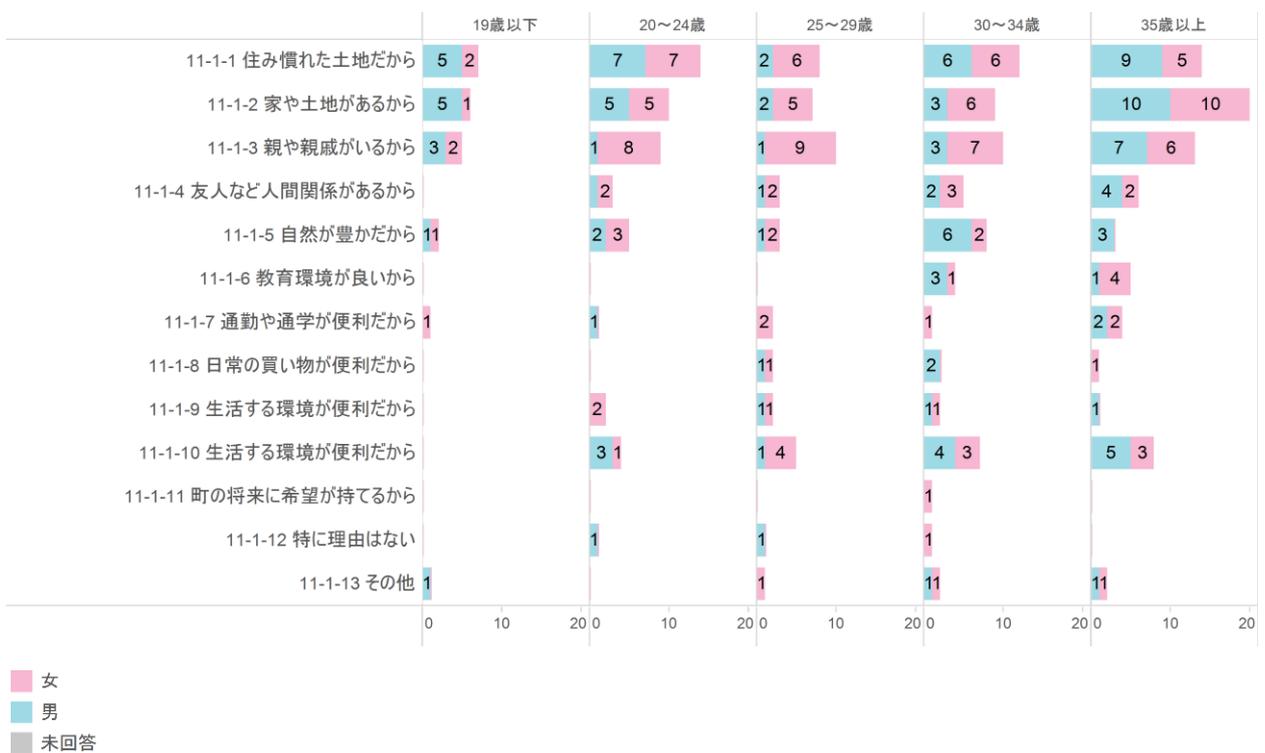


- ・ 五城目町に住み続けたい理由としては、「住み慣れた土地だから」「家や土地があるから」「親や親戚がいるから」の回答が全体の4割を構成している。
- ・ 一方、町外への転出を希望・予定している回答者は、年齢層を問わず相対的に女性が多く、「道路事情や交通の便の悪さ」「町内における適当な職場の少なさ」を理由とする回答が多い。

【問 11-1】

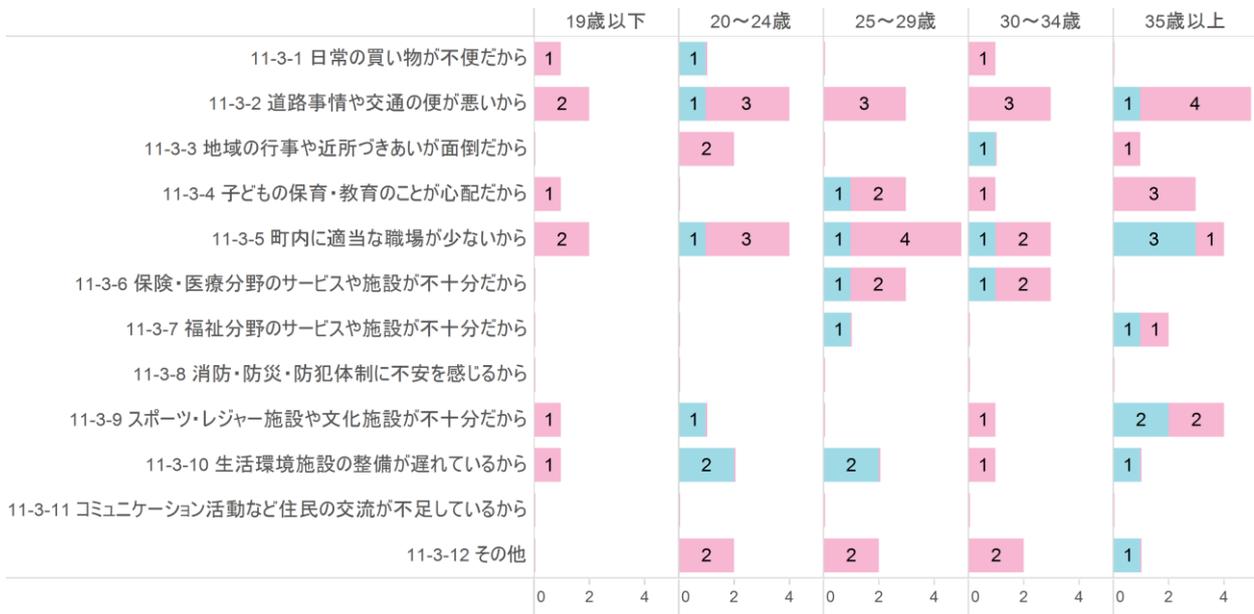
問 11 で「1. 五城目町に住みつづけたい」「2. 当分の間は住みつづけたい」と回答した方のみお答えください。住み続けたい理由は何ですか。

(年齢別)



【問 11-3】

問 11 で「3. できれば他の市町村に転出したい」「4. 他の市町村に転出する予定である」と回答した方のみお答えください。転出する理由として、あてはまるものを3つまで選び、○をつけてください。

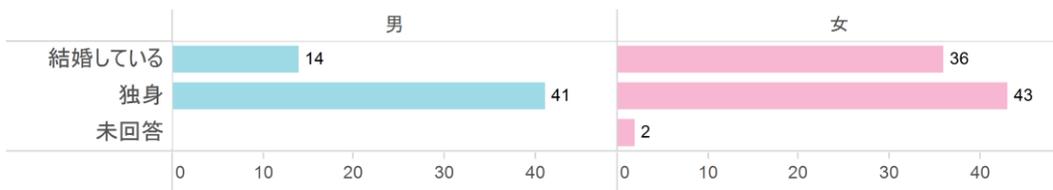


(6) 結婚・出産・子育てに関する意識

- ・ 今回の調査対象では、男性の未婚者が相対的に多い。
- ・ 職業の違いによる既婚・未婚の傾向に関する違いは特に確認されない(ただし「学生」を除く)。
- ・ 未婚者の場合、「いずれは結婚するつもり」の回答が、8割以上を構成している。

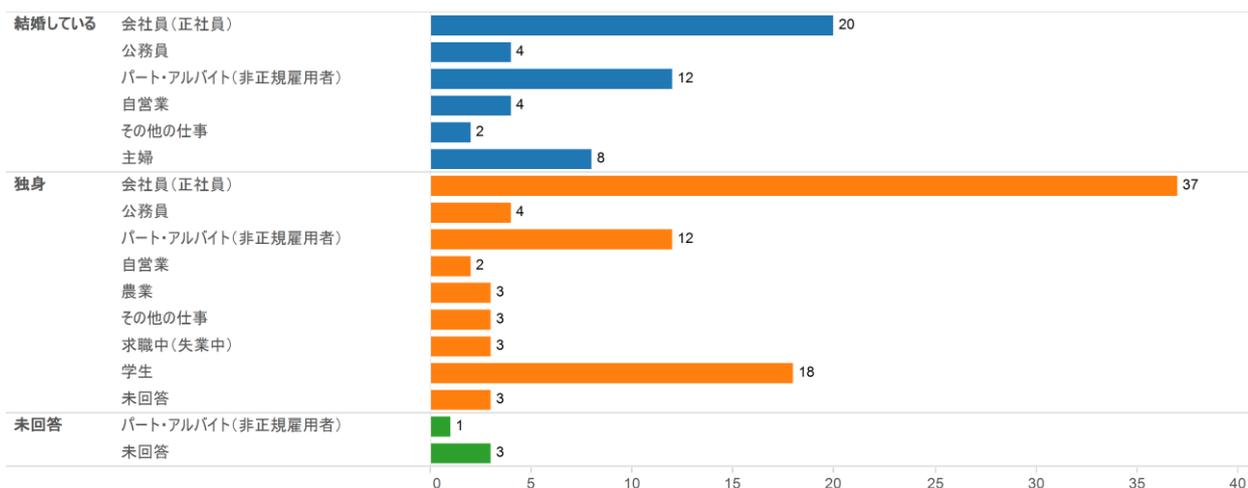
【問 12】

あなたは、現在結婚していますか。あてはまるものを 1 つ選び、○をつけてください。(性別未回答を除く)



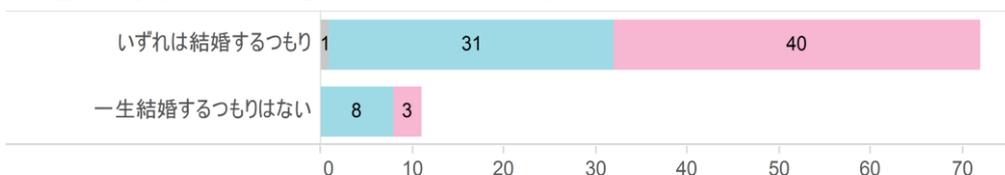
【問 12】

(職業別)



【問 12-1】

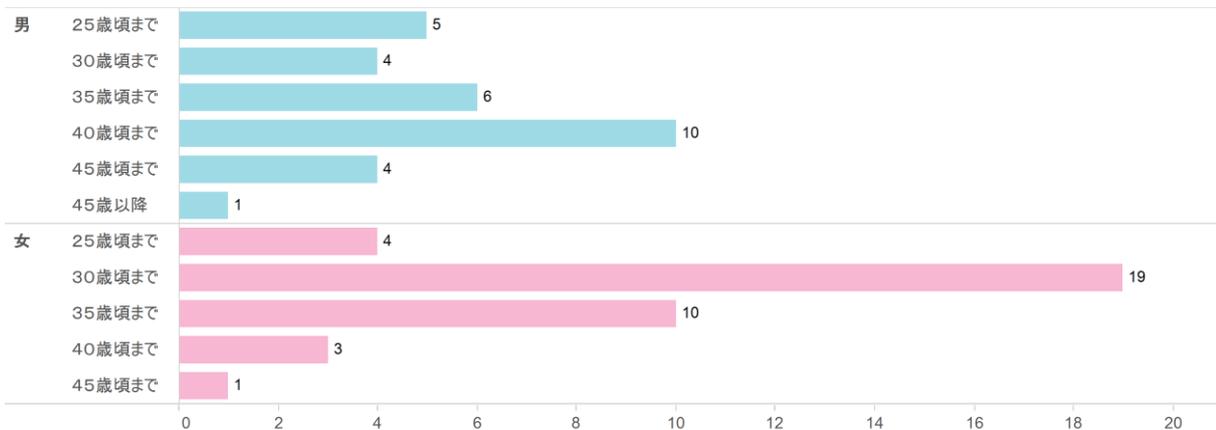
【問 12】で「2. 独身」と回答した方のみお答えください。結婚に関するあなたのお考えに近いものを 1 つ選び、○をつけてください。(未回答データを除く)



- ・ 結婚希望年齢については、男性の最多回答が「40歳まで」であるのに対し、女性の最多回答が「30歳まで」となっており、両者の希望年齢にギャップが存在する。
- ・ 現在独身でいる理由として、男性では「家族を養うほどの収入が無い」、女性では「結婚資金が足りない」が相対的に多い回答となっており、ともに経済的理由に関連している点に特徴がある。

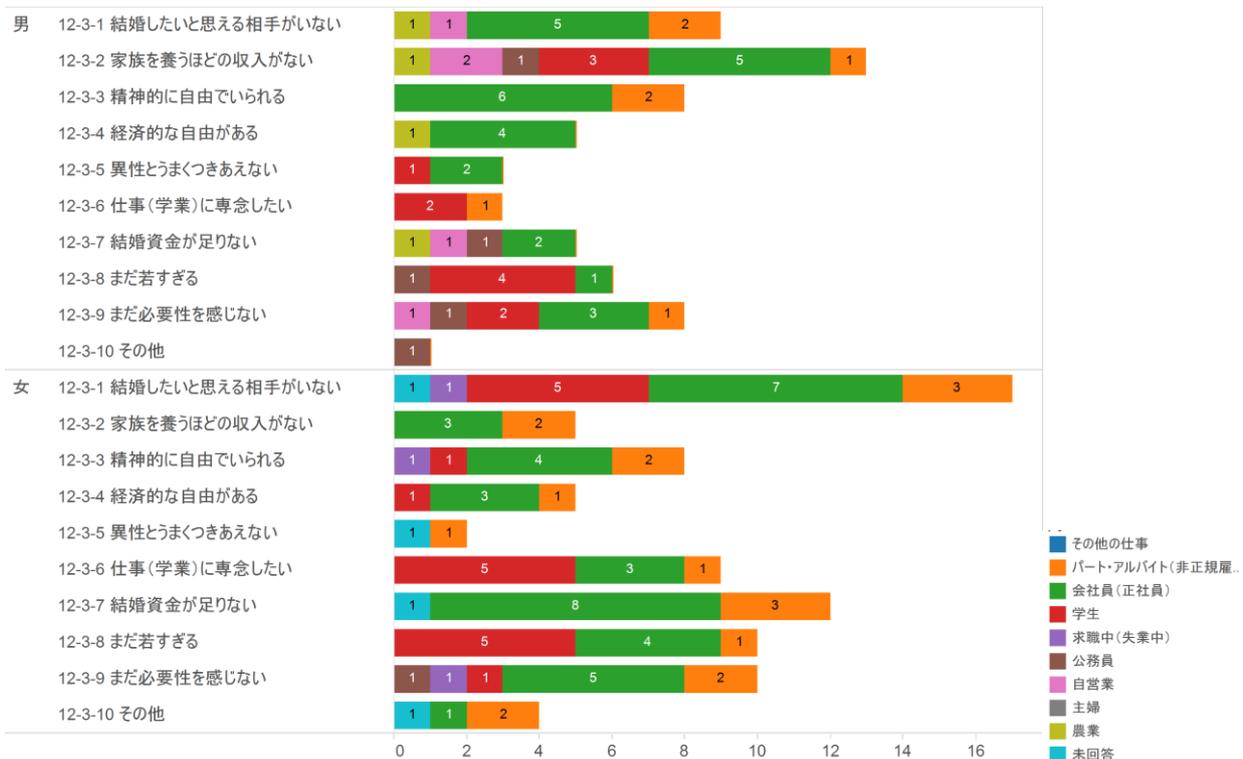
【問 12-2】

【問 12-1】で「1. いずれは結婚するつもり」と回答した方のみお答えください。あなたは、何歳頃までに結婚したいと考えていますか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。(年齢区分未回答を除く)



【問 12-3】

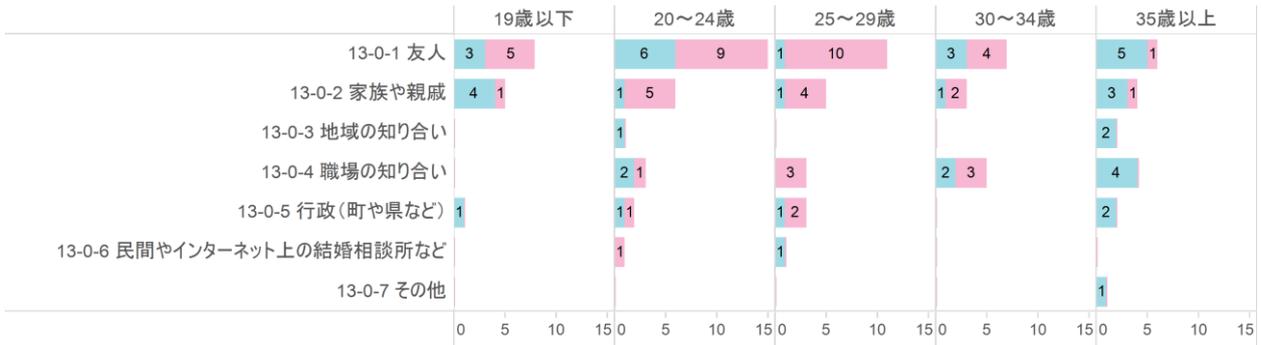
【問 12-1】で「1. いずれは結婚するつもり」と回答した方のみお答えください。あなたが、現在独身でいる理由はどのようなことですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び、○をつけてください。



- ・ 異性との出会いや結婚のアドバイスなどの支援に関しては、「友人」や「家族や親戚」を期待している回答者が大多数である。

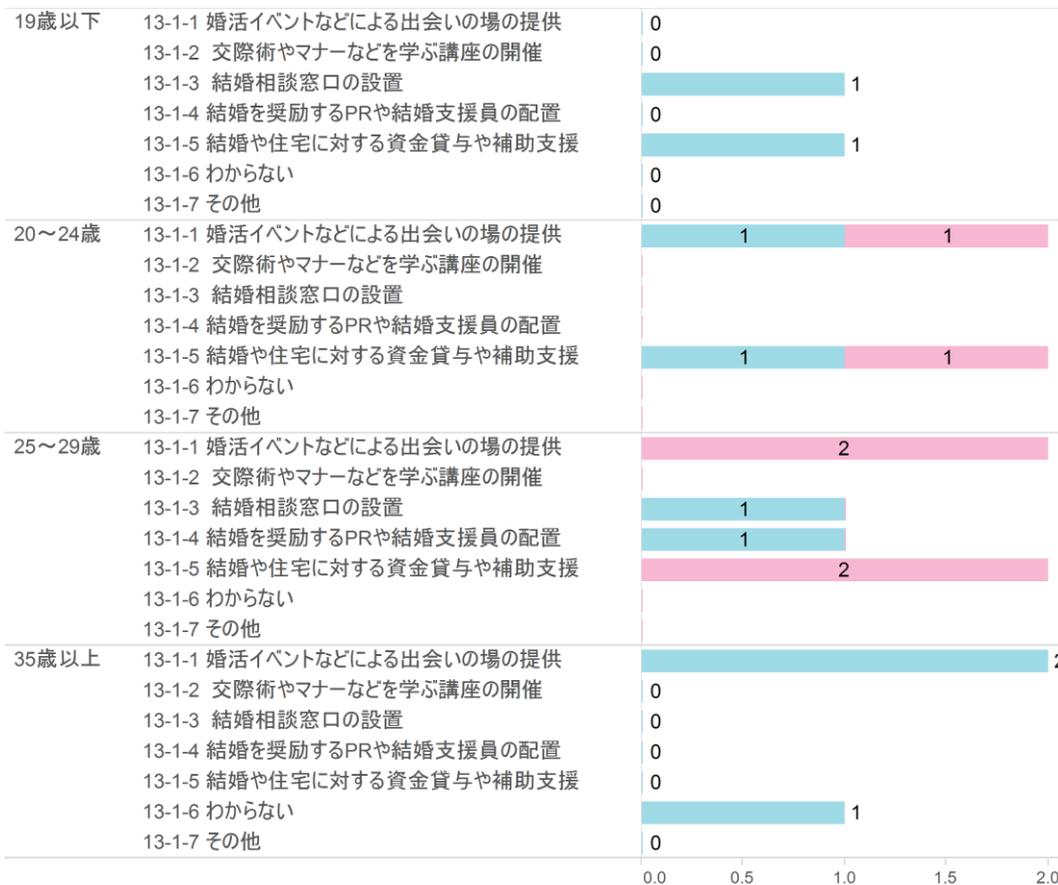
【問 13】

【問 12-1】で「1. いずれは結婚するつもり」と回答した方のみお答えください。あなたは、異性との出会いの情報や、結婚のアドバイスなどの支援を、どこから受けたいと思いますか。あてはまるものを2つまで選び、○をつけてください。



【問 13-1】

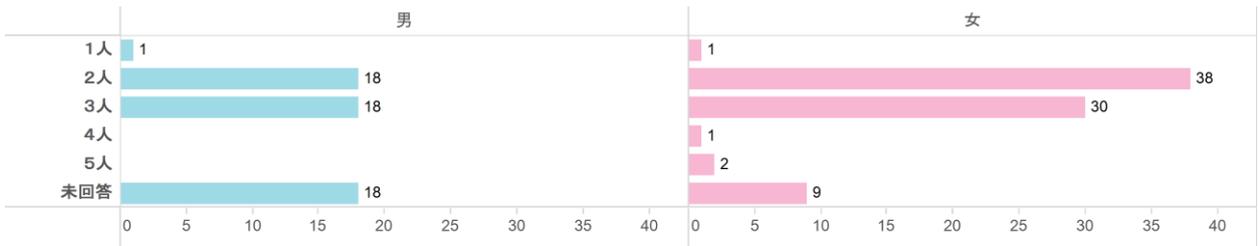
【問 13】において「5. 行政(町や県など)」を選択した方のみお答えください。あなたは、結婚のための支援として、町がどのような取り組みを行うべきだと思いますか。あてはまるものを2つまで選び、○をつけてください。



- ・ 子どもの数に関して、理想は「2人」「3人」が回答の大多数なのに対し、実際の予定では「2人」とする回答が男女ともに最多となっており、理想と現実の間に若干のギャップがある。
- ・ 上記ギャップの理由としては、男女ともに、育児・教育にかかる金銭的負担の大きさをあげる回答が最多となっている。

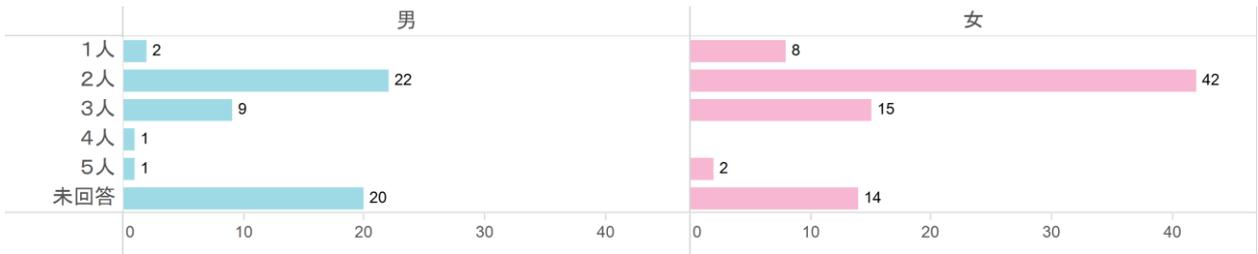
【問 14】

あなたにとって、理想的だと思う子どもの人数は何人ですか。あてはまるものを1つ選び、○をしてください。



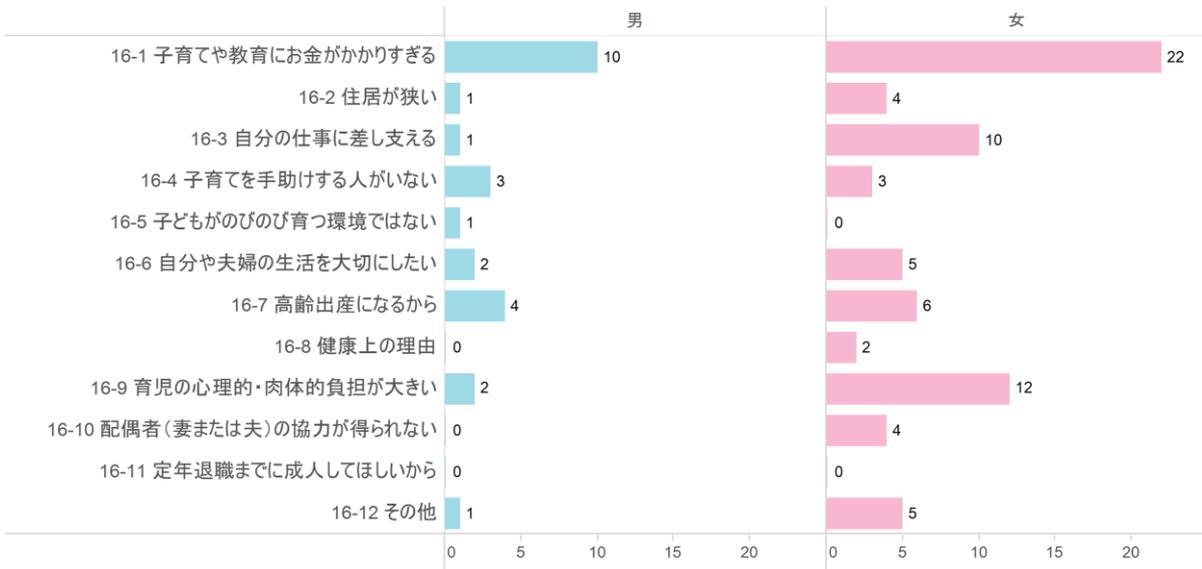
【問 15】

実際には、あなたは現在いるお子さんも含めて、全部で何人の子どもを持つ予定ですか。



【問 16】

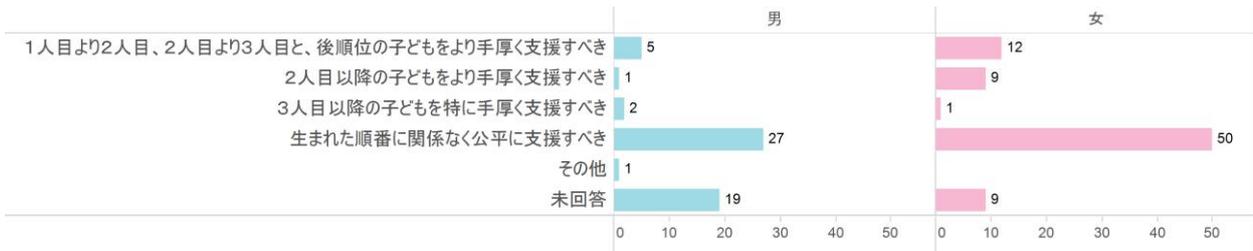
【問 15】で予定されているお子さんの数が、【問 14】の理想の数よりも少ない方にお聞きします。理想とする子どもの数が持てないと思う理由は、どのようなことですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び、○をつけてください。



- ・ 妊娠から子育てに至るライフステージでは、「妊娠・出産期」における支援を要請する回答が相対的に多く、また保育料の助成など、金銭的な支援へのニーズが高い結果となっている。

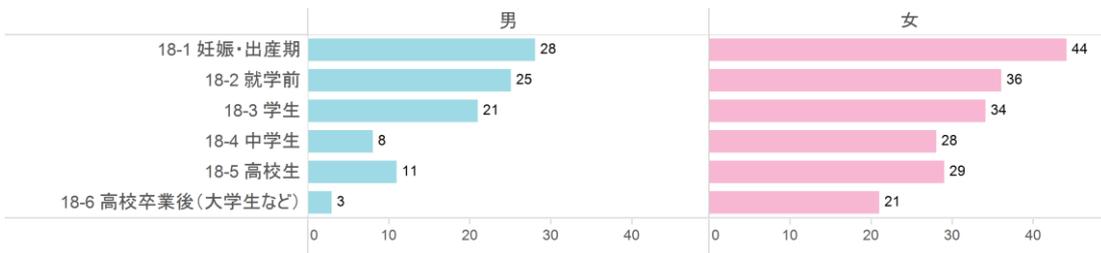
【問 17】

あなたは、町が子育て支援を行う際に、子どもに対する支援の配分のあり方について、どのように思いますか。



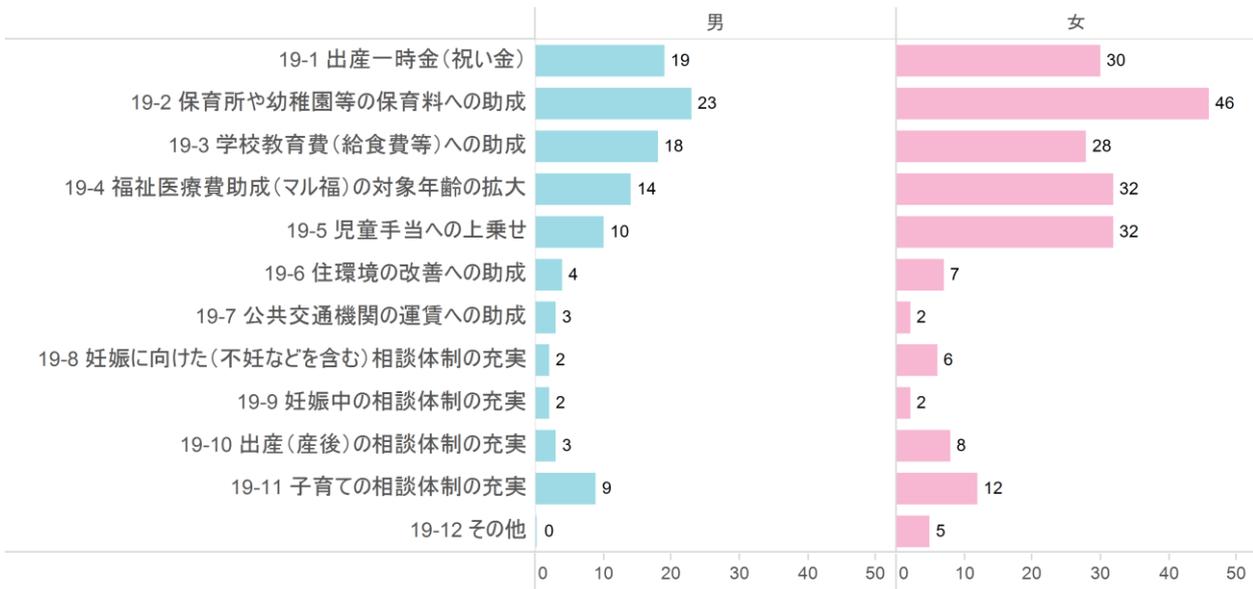
【問 18】

あなたは、子育て等の支援の時期について、ライフステージのどの時期の支援が最も重要だと思いますか。



【問 19】

あなたは、出産や子育てのための支援として、具体的にどのような支援の充実が必要だと思いますか。

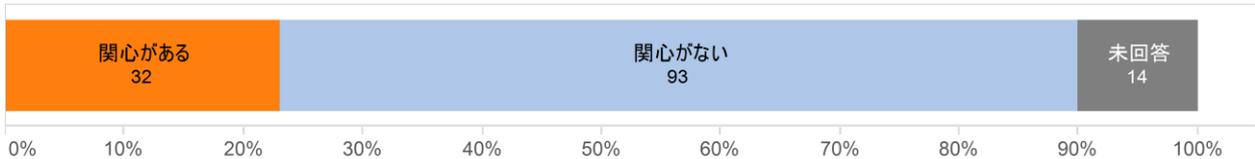


(7) 起業に関する意識

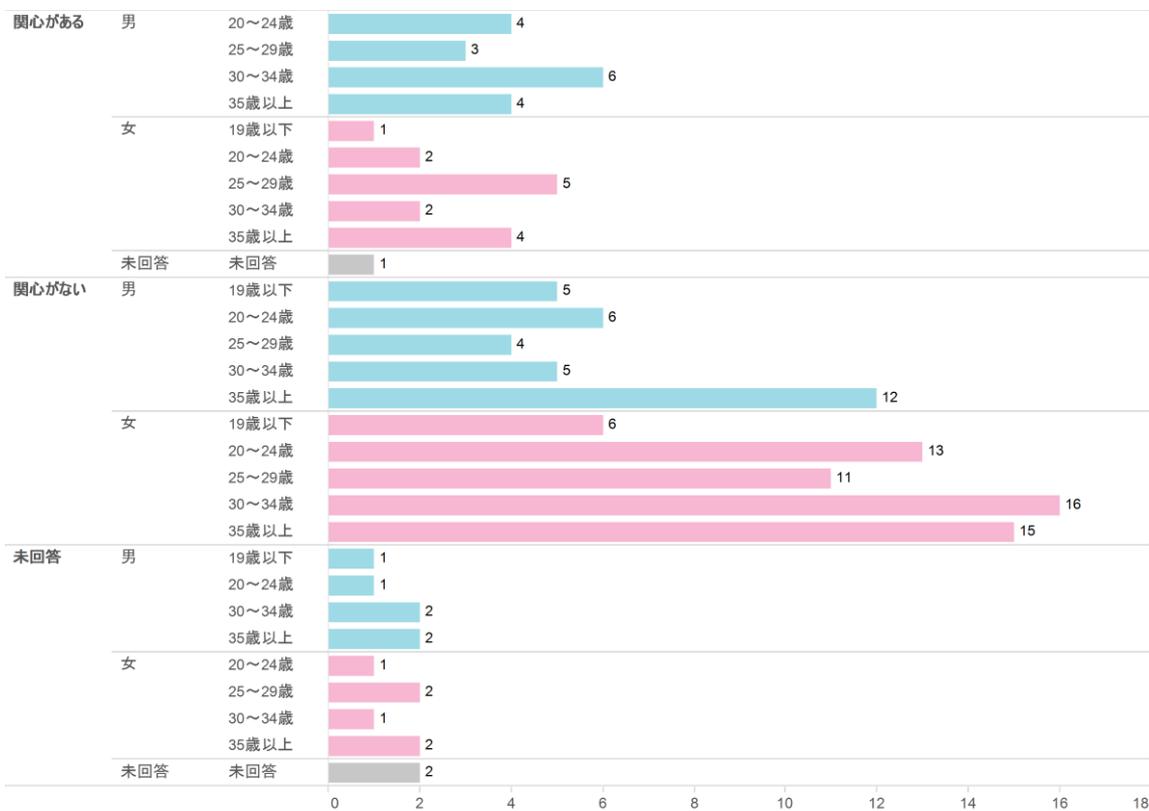
- ・ 起業に対しては、全体の約 2 割が「関心あり」との回答を示している。
- ・ 「関心あり」の回答における、性別や年齢による強い傾向の違いは観察されない。

【問 20】

あなたは、起業について関心がありますか。

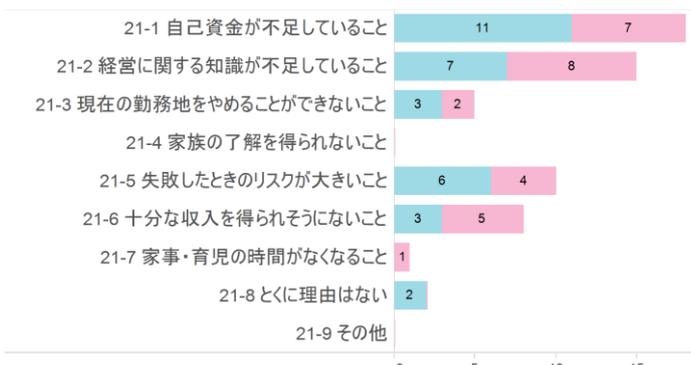


【問 20】(男女別・年齢別)



【問 21】

【問 20】で「1. 関心がある」と回答した方におたずねします。あなたが起業をするにあたり、阻害要因として考えられるのは、どのようなことですか。



- ・ 起業する業種としては、飲食店関連が多く、そのほかにサービス業関連や空き家の有効活用などがあげられている。

【問 22】

【問 20】で「1」と回答した方におたずねします。

もしもあなたが起業をするとすれば、どのような業種ですか。具体的にお書きください。

- ・ 大規模生産・加工工場
- ・ 地元食材を用いた食品の販売(貿易も)。国内外からの観光客を呼び込める施設の経営(空き家などを用いて)。高齢者向けの福祉施設・サービス企業
- ・ 子供連れで来ることが出来るカフェ。子供を預けられる場所(短時間でも)
- ・ 地元の食材を使った飲食店
- ・ 美容
- ・ 農作物の生産、加工、販売。六次産業
- ・ ラーメン屋
- ・ 飲食店(テイクアウト、出前を含む)
- ・ 米粉でつくるパン屋
- ・ 資格を取得しインストラクターのような仕事
- ・ 自分が足を運ぶと癒されるので、雑貨店など
- ・ 自宅を利用した飲食店
- ・ 飲食店の経営をしたいが、集客が難しいことや、店舗の確保など・・・経営が厳しくなることが目に見えている
- ・ グランピング(森林の中)
- ・ 特に考えていない
- ・ 飲食店。雑貨店。何かの教室?(手芸?料理?)など
- ・ メディア、編集、デザイン
- ・ アダルト・エデュケーション
- ・ 美容室の経営
- ・ 空き家をリノベーションし若者や他県移住者を呼び込みたい。インシャルコストや地元地域の雇用など大きな課題があるが人口減と空き家の問題解決に取り組みればと思う
- ・ カフェ、軽食を提供できる店の経営
- ・ パン屋
- ・ 空き地を利用した娯楽施設
- ・ 軽食を販売するような店舗(屋台形式のカフェテリア形式)→カフェテリア形式の場合、食事以外にも人が集まることの出来るようなスペースを用意し、若い世代にも利用しやすいような場所にしたい。また、個人所有の書籍なども置いて読めるようにしたい
- ・ ヘルパー

(8) 自由記載

- ・ 就職希望先としては、医療・福祉関連、五城目町の伝統産業、製造業の工場、保育施設、観光などのサービス業など幅広い業種があげられている。

【自由意見欄】

就職先として、五城目町にあれば良いと思う企業や職種がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・ 観光事業を取り扱う企業。福祉関係(イギリスなどで行われているボランティアのようなもの)
- ・ 飲料や自動車関係の会社が町にあればいいと思います
- ・ IT 企業のようなもの(交通の便が悪いので工場のようなものではなく)
- ・ カレンダーと同じく休める職。子供と一緒に休日を過ごせるように
- ・ 子供は減少してきているが、保育園施設。認定子供園でなくても保護者のニーズに合っているもの。
歴史は素晴らしいが悪しき慣例(昔はこうだった)がない園。作り上げていく保育園施設
- ・ 医療施設(老健施設等)
- ・ 商業施設、娯楽施設
- ・ 酪農
- ・ 病院、施設、商店、薬局、マンション等が合併した多機能施設。イメージとしては酒田市では本間病院
みたいなどころ。これ1つで、色々な職種の人が働くことができる。また、高齢者も若い人も安心して
てよさそう
- ・ 町のクリーンサービス業。(町の環境を整えることを主とする)。若い人も老人も働くことができる
- ・ コールセンター
- ・ 悪天候のときも子供が遊んだりできる施設があれば良いと思う
- ・ 小児科を主体とする個人医院
- ・ ドライブスルー等で購入できる店(牛丼店など)
- ・ 東京ディズニーランド・シーのような、日本全国から人が集まるようなレジャー施設を運営する企業。
五城目町には土地がたくさんあるので、その土地を活用したらいいと思う。中途半端なものではなく、
インパクトのあるもの
- ・ 今の 60 代、70 代の人はずっとも若いと思うので、働ける環境があればよい
- ・ 大企業系の製造会社
- ・ 若い人が関心をもつ職種
- ・ 車関係の工場等の安定した就職先。娯楽に関する施設
- ・ 趣味で手芸をしている老人も多いので、教室(子供～大人向け)を作ってみるなど?
- ・ 料理教室などを作り、だまご鍋(山菜料理など)など地元料理を伝えていく
- ・ ベビーシッター(50 代、60 代でも雇用できそう)
- ・ 夜間日曜日に子供を見てくれる人がいたらいいと思います。(土日関係なく仕事の人、夜勤の人は助
かると思います。)
- ・ 飲食店のチェーン店(すき屋、回転寿司、居酒屋等)

【自由意見欄】(続き)

就職先として、五城目町にあれば良いと思う企業や職種がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・空港
- ・保育園に入れなかったお子さんの親御さんたちのための託児所のついた職場
- ・子育てで仕事やめて再就職したい人への求人を教えてくれる会社や、サポートしてくれる会社を作って欲しい！！秋田のハローワーク等に行くのは遠すぎるので資格(パソコン)とかをとる時に子供がいても勉強できる環境を作って欲しい
- ・職人の町と言われた五城目町ですが、「刃物」「柄」などの後継者がいない。伝統を続ける工夫が必要。新しいことばかりでなく、ホームページで募集するとか、Facebook、twitter の活用
- ・子供がいても正社員ってやはり難しいものですか(女性)。いつか五城目にまた帰れたらと思っていますが、その際の働ける場について心配です
- ・大手企業の支店などが五城目町に出来ればいいな、と思う
- ・事務職関係の充実。子供を持つ母親が働きやすい環境を整えた職場
- ・DVD 等のレンタルショップがあると便利。カラオケやネットカフェの充実設置。映画館の誘致
- ・何でもいいので就職できる場所があればいい。何にも無さ過ぎる
- ・時給をもっと高くして欲しい
- ・正社員の雇用を増やして欲しい
- ・女性が働きやすい企業があればいいと思っている
- ・農産物を加工販売するような、いわゆる6次産業的な業職
- ・特にない

【自由意見欄】

これからの町の施策として望むことや、まちづくりについてご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

- ・交通の利便性が悪いので、バス路線を復活して欲しい。(或いは町内循環バス)
- ・育児休暇を取得したら、上の子が保育園から幼稚園扱いにされてしまい、大変困っている。時間が制限され赤ちゃんの世話を専念できず、ストレスを感じている。町で子育ての支援を進めていくのであればこの制度は早急に見直すべきである。保育園時間での預かり継続を！！
- ・子供が大きくなったときに駅がないと不便。(自分もそうだった)
- ・商品券は素晴らしいと思う。子供のときに町内の高齢者の施設等へ交流イベント、役場見学等を増やす。また、中学生に対して、どういう職種があり、町内でどういう就職先があるかなど細かく知る環境を作る。時間をもてあましている世代には教室やコンテスト・大会など独身者には出会いの場、若者には娯楽、女性にはおいしい食べ物の催しを
- ・協力隊のような人がいるのがいい！
- ・飲食店マップ、観光マップ(温泉・公園など)を配布し、町外の人にも来やすくする。(スタンプラリーなど?)
- ・老人施設の充実→介護者の、給料面が良いといいです。(こんな良い話が現実になったら私はこの町を出ません!!)。介護予防の充実・・・あまり外に出歩かないおじいさん、おばあさんも気軽に体操が出来る体制。病院をあまり利用しない様な暮らし。体を動かしたり、手を動かしたり、歌を歌ったり・・・
- ・朝市など伝統を守っていくことも大事だとは思いますが、それより企業誘致など新しいことにも力を入れて欲しい。例えばテーマパークを持ってくる(アンパンマンミュージアム・サンリオなど)、若い人の就職先が出来る、子供たちの遊ぶ場所が出来る、町外・県外からの人の流れが出来る、ホテル・飲食店が栄える、木苺(きいちご)など無理して名産品を作るよりいいかと思ます
- ・オートキャンプ場を作って欲しい。スキー場を作って欲しい。(恋地じゃなくて、ちゃんと設備の整った規模の大きいところ)もっと地元で遊べたらいいと思ます
- ・若い人たちの意見が反映される体制にすること
- ・公共施設白書の作成など、行政の資料等の透明化
- ・自分の生まれ育った男鹿市には、花火や男鹿ナマハゲロックなど若者を呼び込むイベントが結構あります。これはイベントを企画した町の人たちの努力以外の何物でもなく、自分にとって誇りです。五城目に移り住んでみて心躍るイベントはないと思ました
- ・若い人が働ける場がない。仕事がないと市内や県外に出ざるを得ない。学校も近くに無かったりすると、やはり結婚し子供が出来たとき大変だ。不安だ。これからどんどん高齢化が進み、若い人の定着が難しいと思う。
- ・駅があればいいと思ます

【自由意見欄】(続き)

これからの町の施策として望むことや、まちづくりについてご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

- ・以前に比べてイベント等が増え、町内外からの参加される方が増えているように感じます。このまま続けていってもらいたいと思います。冬のお祭りなどもあれば楽しそうですね
- ・他県では、子育て支援センターなどでもう使わなくなった洋服とかベビーカーなどを集めて、今必要な人に譲ってあげたり、孫など一時帰省などで帰ってくる時だけにチャイルドシートなど使いたいという人に貸してあげたりしていて、町でもこんなことやってくれたら良いなあって思いました
- ・色々課題はあると思うが、企業誘致
- ・もっと五城目町のことを秋田市や県外にアピールしたほうが良いと思う。五城目城の事や朝市のことを知らない人が多いと思うから
- ・町の施策で色々取り組んでいることが今もあると思うが、取り組んでいることが、どこまで浸透していて、どこまで広がっているか、同時に調査しないと身近な人たちの満足で終わってしまうと思う
- ・久しぶりに朝市に行ったとき、お店に並んでいる商品が昔より少なく感じて淋しく思いました。郵便局の向かいの施設の中も、もっと見せ方があるのではないかと思いました
- ・若者が主役になるようなイベント・行事をもっと行って下さい。そして、若者に仕事・娯楽・出会いの場をもっと増やして下さい
- ・町の伝統芸能に携わっている関係上、町民に伝統芸能を理解・認知してもらえる環境づくりをしてもらいたい
- ・このアンケートが無駄にならないようにして欲しい。やりっぱなしの施策は意味が無いし、そもそもやる意味が無い。早期の結果は求めないので、プロジェクトチームを結成し確実に行って欲しい
- ・ゲオやツタヤなどのレンタル店があったら嬉しいです。ショッピングモールと一緒にいる公園(子供が遊べる)。ペットホテル・カフェ、離乳食を提供できる飲食店(母親目線のお店)
- ・他の町に比べ、広い土地があることを活かして、企業の誘致を進めて行って欲しい
- ・障がい者の正規雇用を求める
- ・子供 3 人産んだが特に感謝されることも無く・・・県外から転居してきたが何も支援が無かった。少子化・高齢化が進んでいて何か対策を・・・と言われても特に期待していない
- ・子供をたくさん生んだ家庭に支援があると良いと思います
- ・五城目町だけでは何かするのは難しいので、近くの町や市、村と協力して企業の誘致や、子育て支援等を行えばいいと思います。(施設を作るとか)
- ・仕事が無いので若い人が定住するのは難しい
- ・自分も主人の職場が遠いので、出来れば五城目町を出たいと思っている。もし、近くに仕事があるなら、五城目町は大好きなので住み続けたいと思っている
- ・膨大な土地を最大限利用して企業を誘致すべき。町会議員を減らして税金を他のことに使うべき
- ・お店や企業・病院などをもっと増やして欲しい

【自由意見欄】(続き)

これからの町の施策として望むことや、まちづくりについてご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

- ・結婚や出産など女性にとって重要な時期をサポートして欲しい
- ・冬の道で大きな道路や大きな歩道は比較的マメに除雪されていますが、住宅街や小さい道は除雪が来るのが遅く、雑なことが多いです。道幅がとても狭くなるため、子供や高齢者が歩く際に危険です。また、車を出すにも雪が深いと大変です。ワダチになって車を運転するにも危険なこともあります。毎年とても困っているので対策をお願いいたします
- ・五城目町バスターミナルから井川さくら駅までのバスの本数・運行時間を増やして欲しい
- ・若者が集う行事などが少ない。魅力的に思うものがない。自然が豊かで大好きです。前住んでいた場所も豊か過ぎましたが
- ・他の地方からの移住者を積極的に受け入れていく体制や、制度面での取り組み、そしてそれを対外的にアピールすることの出来るような仕組み(広報)を整えること。(Blog や Facebook、twitter等のSNS の活用。Podcast、YouTube などの配信サービスなど)
- ・道路の修復

2. 進路等に関する意向の調査

(1) 調査の概要

図表2. 進路等に関する意向の調査の概要

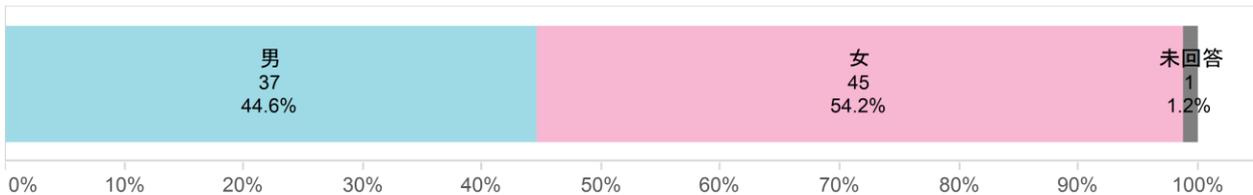
調査地域	五城目町
調査対象	町内在住の高校生等（16歳～18歳）
配布数	226部
回収率（有効回答数）	36.7%（83部）
調査期間	平成27年（2015年）7月
調査方法	無記名式アンケートの郵送および直接配布および回収

(2) 調査対象者の属性

- ・ 回答者の男女比はほぼ同数であり、合計で約 80 人である。
- ・ 在籍学科については普通科が大半であり、工業科では男性が相対的に多い。

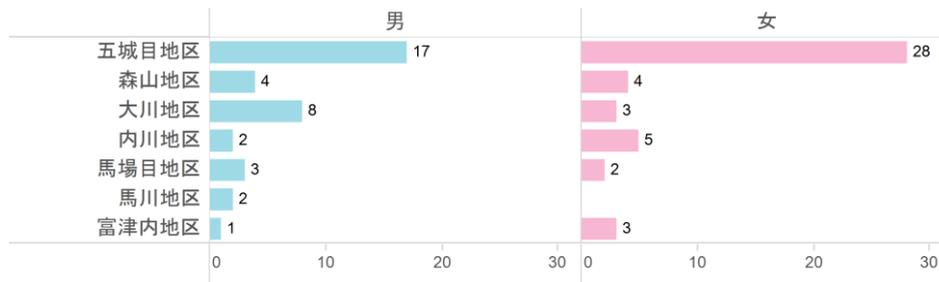
【問 4】

あなたの性別について、あてはまるものを 1 つ選び、○をつけてください。



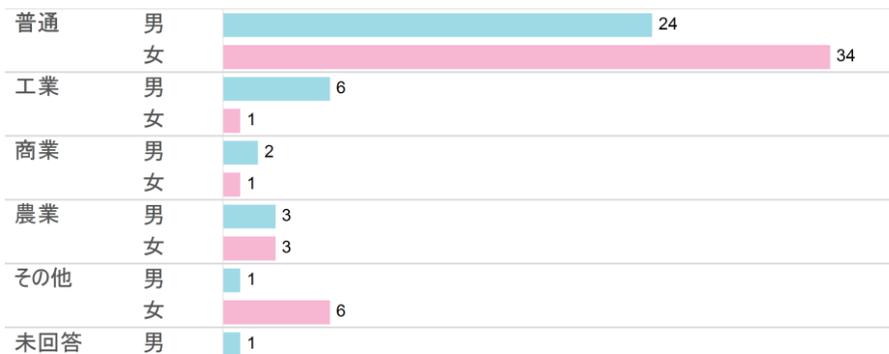
【問 5】

あなたがお住まいの地区について、あてはまるものを 1 つ選び、○をつけてください。



【問 6】

高校生の方におたずねします。現在の在籍学科について、あてはまるものを 1 つ選び、○をつけてください。

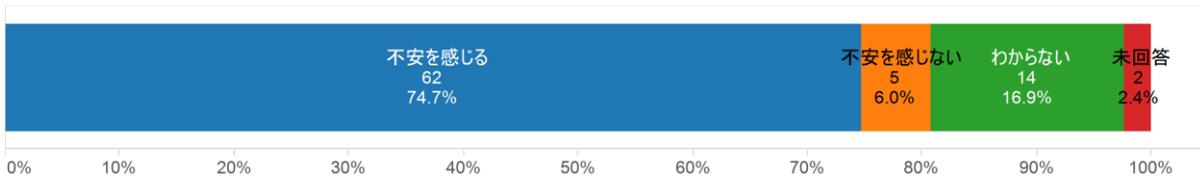


(3) 将来人口への不安

- ・ 高校生等を対象とした質問でも、一般町民と同様に、将来人口に対する強い不安の意向が確認された。
- ・ 「町における活気の喪失」を懸念する回答が最多となり、その対策としては、「企業の誘致」「企業への雇用促進」「若者の移住・定住支援」「教育・子育て支援の充実」を望む声が多い。

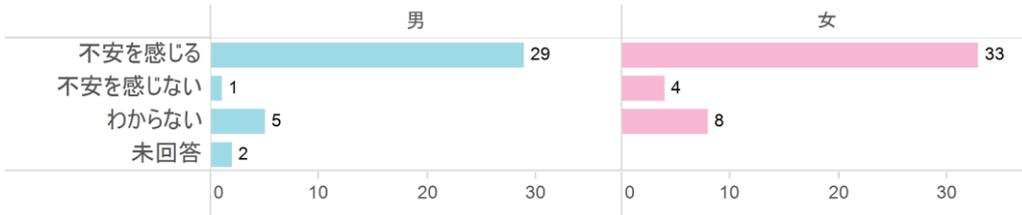
【問 1】

あなたは、五城目町の人口推移予測について、どのように思いますか。



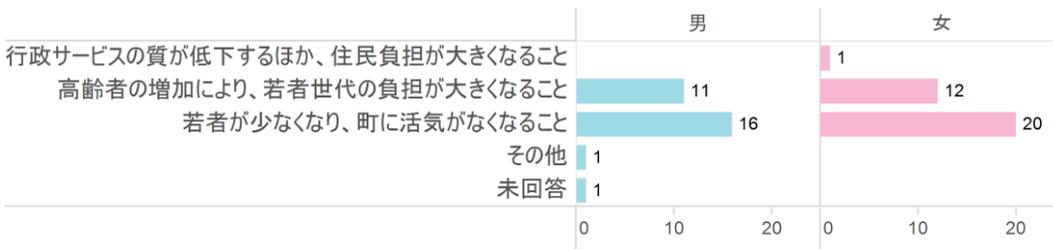
【問 1】

(男女別)



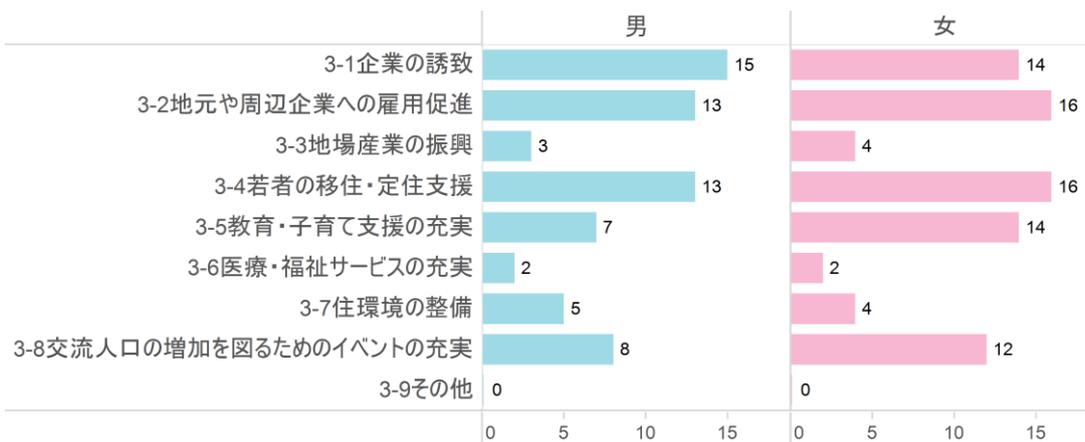
【問 2】

問 1 で「1. 不安を感じる」を選択した方におたずねします具体的にどのようなことに不安を感じますか。



【問 3】

あなたは、五城目町において、若者の減少を抑えるために効果的な施策はどのようなものだと思いますか。

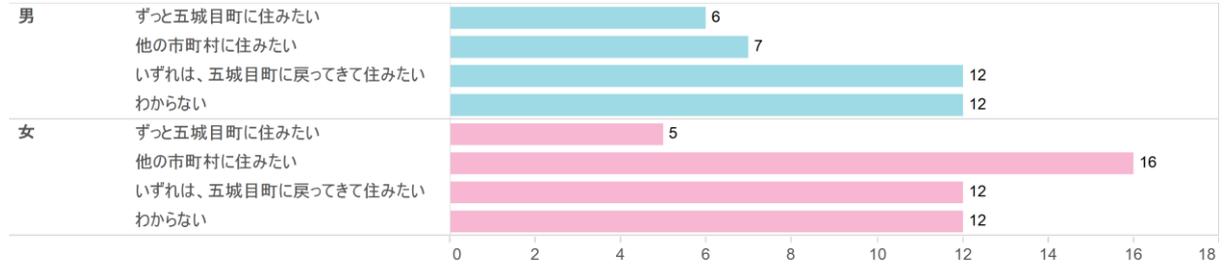


(4) 定住意向に関する調査

- ・ 女性では「他市町村に住みたい」との回答が最多となり、かつ男性と比較して相対的に多い。
- ・ 上記の理由としては、就職先に関する不安と生活の不便さがあげられている。

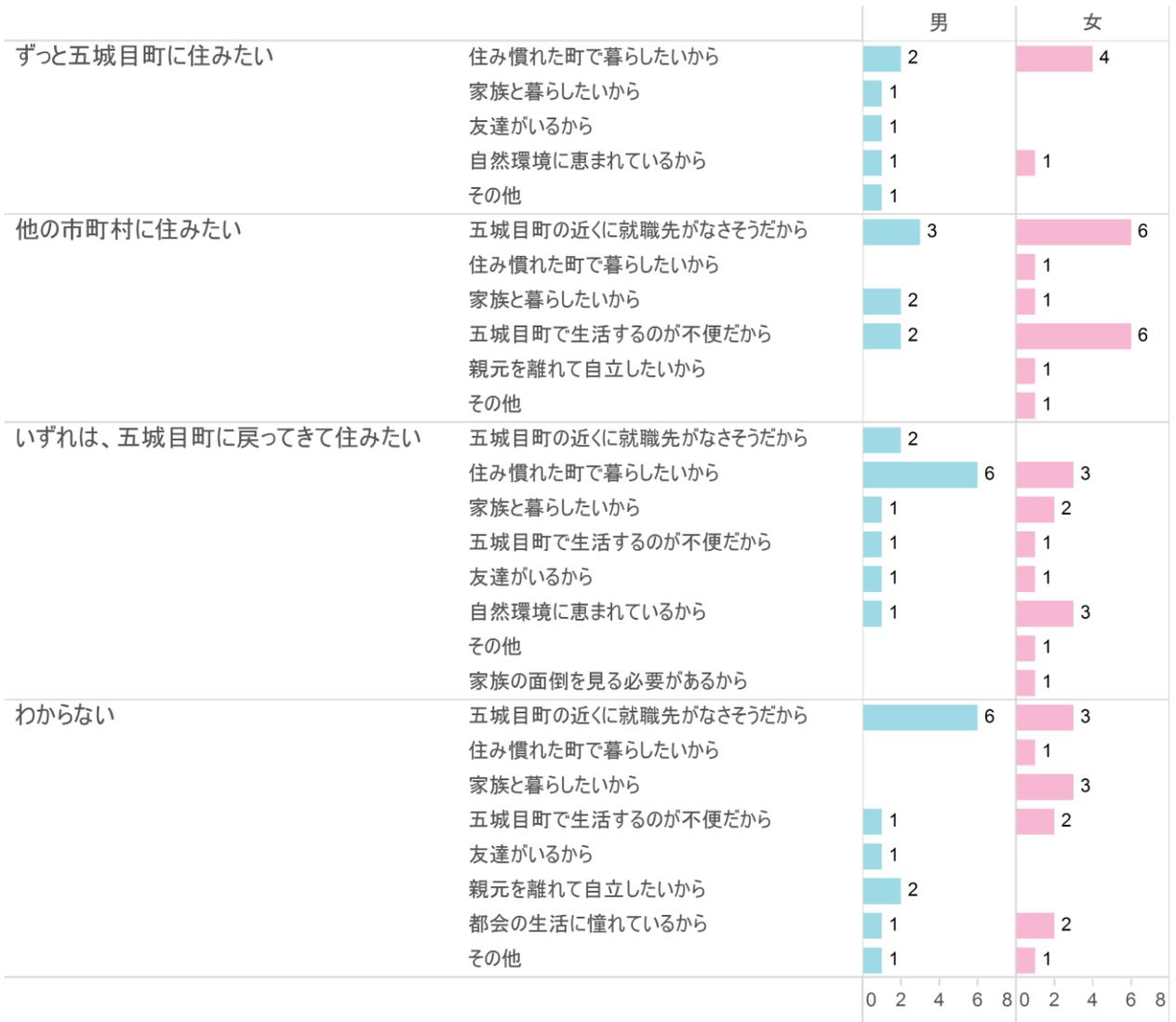
【問7】

あなたは、将来的に五城目町に住みたいと考えていますか。



【問8】

問7で回答した理由として、あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

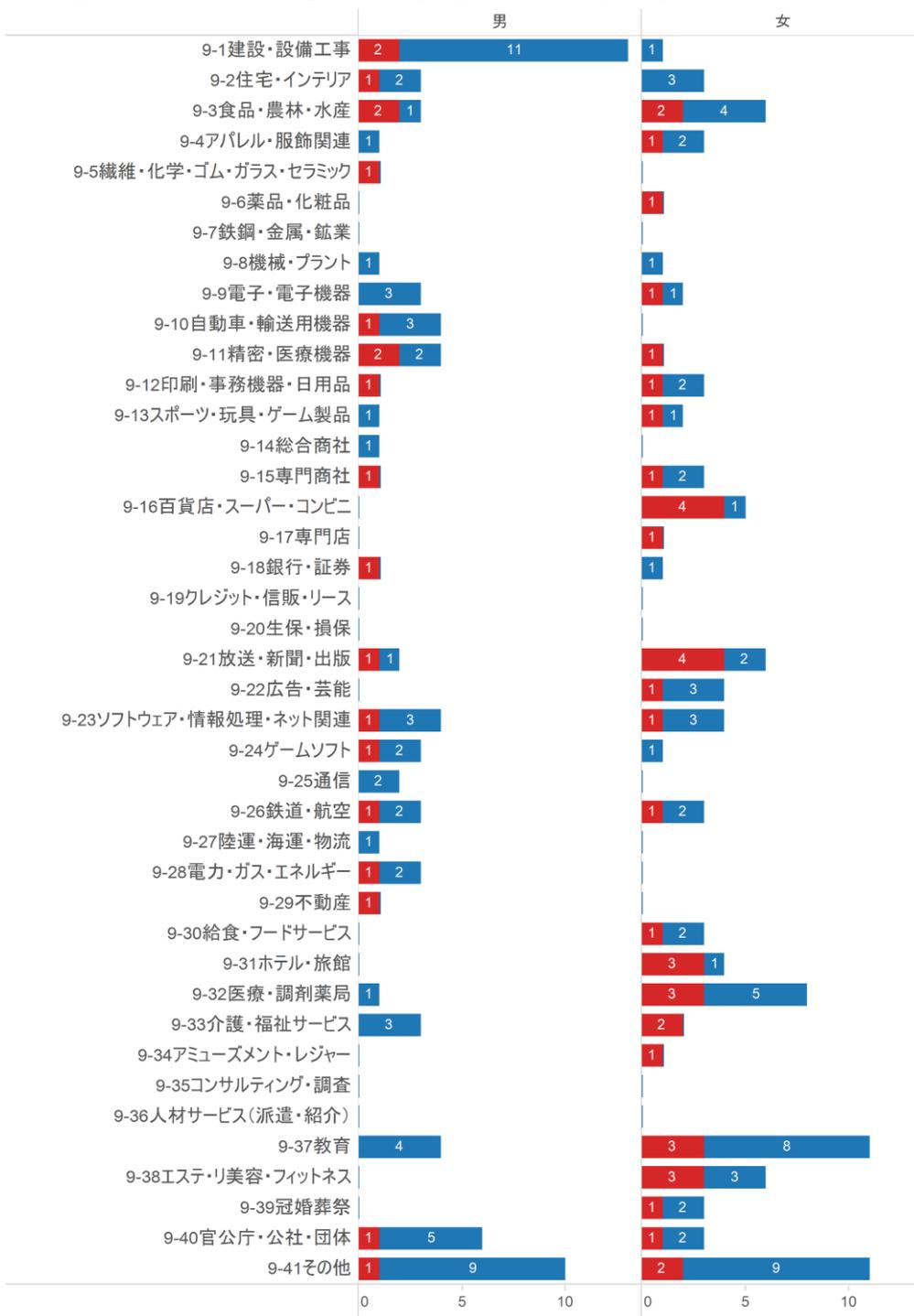


(5) 進路に関する調査

- ・ 男性では「建設・設備工事」への就職希望が多い。
- ・ 「百貨店・スーパー・コンビニ」「放送・新聞・出版」「ホテル・旅館」などへの就職希望者は、「他の市町村に住みたい」との意向を示す傾向が相対的に強い。

【問9】

あなたは将来、どのような業界に就職をしたいと考えていますか。

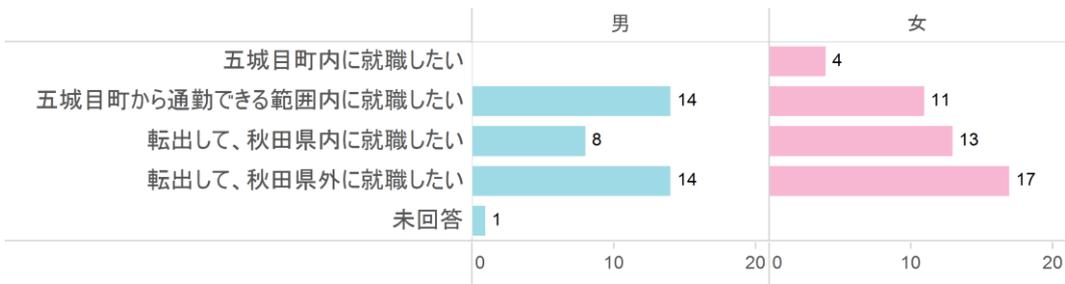


「他の市町村に住みたい」以外
他の市町村に住みたい

- ・ 就職場所については、女性の場合、五城目町外の勤務地を希望する回答が多い。
- ・ 五城目町を含む周辺地域を就職先とする希望者は、その経済的なメリットを理由としてあげている一方、県内での就職希望者は地元への貢献意識も強い傾向が窺われ、また、県外での就職希望者では、周辺での就職先の少なさや都会での就職希望の強さが理由としてあげられる点に、それぞれの特徴がみられる。

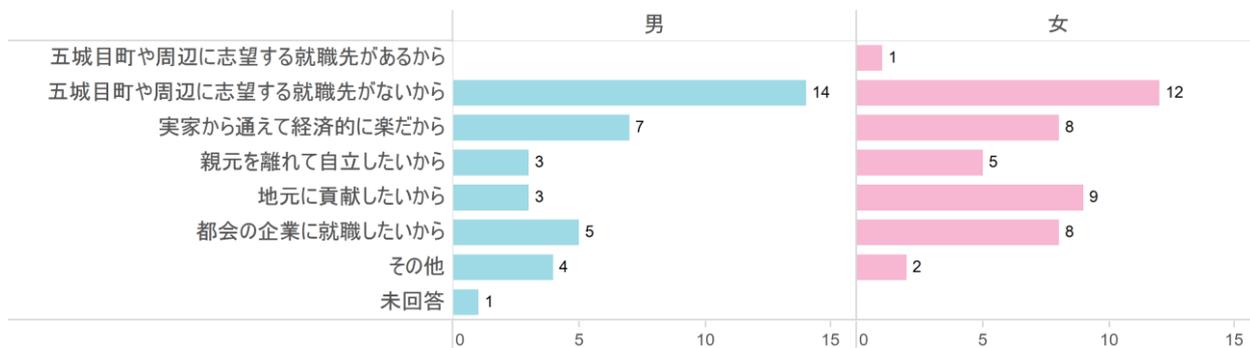
【問 10】

あなたは、就職先の場所として、どこを希望しますか



【問 11】

問 11 で回答した理由として、あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。



(6) 自由記載

- ・ 就職希望先は、製造業、飲食、小売、サービス、医療・福祉など広範にわたっている。

【自由意見欄】

就職先として、五城目町にあれば良いと思う企業や職種がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・造船・精密機械
- ・ゲーム関係、パソコン関係、絵師
- ・楽器店、レストラン
- ・女性で事務をやりたい人が多いため、事務などの職種を増やしたり、入りやすくしたりすれば良いと思う。
- ・イベント企画会社
- ・医療や福祉
- ・大きなプラント会社(工業化学系)
- ・今、秋田県ではグローバル化が進んでいるので、もっと海外とつながる企業があれば若者が集まると思います
- ・もっと、店を多くしたほうが良い。コンビニを多くして欲しい。内川地区にスーパーを作って欲しい

【自由意見欄】

五城目町が今後取り組んでいくべき事業のアイデアや、こうしてほしいという意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・多くの雇用を創出できるような企業の誘致
- ・五城目の年少人口の減少の歯止めをかけるための政策。(新しい保育施設があり、子供が遊ぶ場所、自然などがあるため、育てやすい環境は整っていると思うので、子供を産みやすい環境に重点を置いた具体的な政策)
- ・このままでは、数十年後には人口減少によって、町としての機能が難しくなることを、もっと町内外の人に知ってもらう
- ・子育ての支援をもっと積極的に行うべきだと思います
- ・気軽に参加できる地域でのイベントがあると活気付くと思う。また、大きめの図書館が欲しい
- ・業種に関係なく、企業が無ければ若者は就職できないので、誘致を進めないと若者は地元になくなってしまう。と思う
- ・ふれあい館にみんなが弾けるピアノを置いて欲しい
- ・昭和な街並みを残して欲しい
- ・若者が減らないために、子育て支援や、企業や、皆が楽しめる施設を造ったらよいと思う
- ・マンションなどを建設したら、人が五城目町に集まりやすくなると思います
- ・もっと五城目町を県内外にアピールすれば良いと思います
- ・朝市の活気があまりないように感じるので、対策を取るべきだと思います
- ・交通が不便なので、バスなどをもっと増やして欲しい
- ・無料バスを導入して欲しい(田舎の高齢者や無免許の人たちのため)
- ・若者が働くための企業を誘致して欲しい
- ・テーマパークを建てて子供や若者を集める
- ・若者が働きたいと思う仕事があればいい
- ・若者が楽しめるような娯楽施設を増やして欲しい(例えば、ゲームセンター、スポーツ施設などを増やして欲しい)
- ・若者が集まるイベントや場所をつくる。勉強やスポーツ・趣味が楽しめる場所
- ・昨年行った朝市サミットのような全国各地から人が集まるような行事やイベントは凄いいと思います。五城目の特産品を「ザ！鉄腕！DASH！！」で取り上げてもらう！！ギネスを取る。五城目いいところツアーを行う
- ・就職しやすい環境整備をお願いしたいです
- ・小学生までの子供が行きたいと思えるような一年中利用できる五城目町に合った施設
- ・昔からあったもの(だまこなど)のアレンジ。若者や今の時代にウケるような商品の企画
- ・県外の人たちが来るような娯楽施設をもう少し増やしたほうが五城目町に活気が出ると思う
- ・五城目町全体の人口が増えるように楽しめるイベントを増やして欲しい
- ・若者とお年寄り、どちらも楽しめるようなプログラムのイベントがあると、幅広い年代の人たちの交流の場になると思います。(例)広域体育館での、音楽・ダンス・イベントなど